

2020年4月30日

各位

大和エネルギー・インフラ株式会社

株式会社インフォステラへの投資について

大和エネルギー・インフラ株式会社（代表取締役社長：松田守正、本社：東京都千代田区／以下、「当社」）は、このたび、国内外で周回衛星オペレーター及び地上局事業者向けの情報通信支援サービスを行う株式会社インフォステラ（以下、「インフォステラ」）への投資を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

インフォステラはGSaaS(Ground Segment as a Service)型のアンテナシェアリングプラットフォーム「StellarStation」を開発・運用しております。StellarStationは、優れたGUI/APIを通じて周回衛星オペレーター向けに世界各国の地上局事業者のアンテナを柔軟に接続させ、パススペースで使用可能とするもので、これにより周回衛星オペレーター側のコストや接続における作業負荷を最小化し、一方で地上局事業者が保有するアンテナの稼働率向上にも寄与することが期待されます。当社はStellarStationが、今後増加が予想される周回衛星と、稼働率の低い地上局事業者のアンテナをつなぐ情報基盤になり得ると期待しております。今回の投資を通じ、次世代インフラとなり得る地上局ネットワークの拡充が図れるような取り組みを、インフォステラと積極的に協議してまいります。

大和証券グループは、代表執行役社長 中田誠司を委員長とした『SDGs 推進委員会』を設置し、グループ横断的にSDGsへの取り組みを進めております。本件では、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）における「産業と技術革新の基盤をつくろう」、「住み続けられるまちづくりを」に資するものと考えており、本取り組みを通じ、当社グループはSDGs達成に向けて貢献してまいります。

SDGs17の目標 ※本件は以下2つの目標に資するものです。

【目標9】：産業と技術革新の基盤をつくろう

技術革新が顕著な宇宙産業の拡大に必須の地上局の増設並びに稼働率向上への寄与を通じ、当該分野の技術基盤の確立に貢献します。

【目標11】：住み続けられるまちづくりを

未活用地上局の稼働率向上に寄与することで、衛星通信網の整備及び拡張を進め持続的に居住可能なまちづくりを中長期的に実現することを目指します。

以上